



第 46 回 - 第 2 章 「積極思考」をする者は山をも動かす（その 2） -

●楽観的になれば心は大きくふくらむ

なにか信じるものを持っているということは正常な証拠であり、いつも消極的で冷笑的な態度を取るのとは心が病んでいる印である。

鳥は空を飛ぶように生まれついており、空は両翼で羽ばたく鳥たちの自然の住処である。

水は魚にとって自然の住処である。

信念とは、人が自然の空気で呼吸するのと同じなのである。

信じるもののある生活は正常で、世をすねた生き方は不自然である。

だから信じるものを持つように、あなたを励ましてくれるすべてのものに対して、心を開こうではないか。

信念を破壊し、不信の心を忍び込ませる消極的な考えを、すべて排除しよう。

人を信じ、自分を信じ、信念に基づいた積極的な生活を送れば、愛、喜び、勇気、誠実、熱意などの肯定的な感動があなたを包むようになり、あなたは健康な情感を持った人間になる。

だが、自然の空気を素直に呼吸せず、疑いや不信で汚染された空気を吸っていると、人の心はたちまち活力を失って、否定的な感情に蝕まれてゆく。

あなたは、人生を信じるように生まれついているのだ。自然の空気があるがままに呼吸しようではないか。

人生を楽観すれば、あなたの心は大きくふくらんでくる。

正しい信念は無限の力を生み出す 信念を持つ人は幸せである

●挑戦する心が恐怖心を消滅させる

猛り狂う壮大な波に乗って滑っているサーファーを眺めて、心躍り励まされることがあるとシュラーは言う。

波に乗り、ボードを操るサーファーであるが、ボードから放り出されて海中に転落することもある。

乗っても、落ちて、彼らは勝者である。なぜならば、**挑戦することは、恐怖心に対する勝利だからである。**

臆病者は襲いかかる波に気をのまれ、悲鳴をあげて尻込みする。恐ろしさに負けて背を向けると、音を立てて崩れ落ちる波頭に、たちまち打ちのめされてしまう。人生はサーフィングと同じである。

氣力をふるって、恐ろしいものに立ち向かおう。

怯む心に鞭打って積極策に転じよう。

恐怖心は疑心を生み、疑心の影は恐怖によって果てしなく広がる。

捨て身の覚悟で挑めば、案外命も助かり、物事はスムーズに進むものである。

信念が強まれば、いつも助かり、うまくいくことに驚くであろう。

〈MIKO〉

□ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より